

かしま まちづくりセンターだより



2023年
(令和5年) 3・15
No.150

編集：鹿島地区まちづくり委員会情報部
発行責任者：鹿島地区まちづくり委員長 宮本 弘
TEL83-5650 FAX84-0070

令和4年12月～令和5年3月までの活動記録



■クリスマス スワッグ作り 12月3日(土) 10名



講師の先生をお迎えし、Xmasスワッグ作りを開催しました。使う葉の種類や形の整え方など、コツを教えてくださいながら作製していきました。



■親子移動教室(造幣局・鉄道博物館) 3月6日(金) 17名

■そば打ち体験 2月25日(土) 14名



鉄道博物館では、日本での鉄道の役割、技術の変遷、社会への影響などが学べました。当時の情景を再現した実物車両展示、体験学習など、鉄道を身近に感じることもできました。造幣局では、貨幣の製造工程や歴史の紹介、記念貨幣や勲章が展示されていました。千両箱の重さに触れたり、手持ちの貨幣のすり減り具合を調べる体験もできました。

毎年恒例のそば打ち教室。講師からレクチャーを受け、そば粉をこねて伸ばす作業や、そばを細く均等にカットしていく体験をしました。今年は14名の参加者のうち、女性が3名参加されましたが、力のいる作業でもコツを掴んで丁寧に仕上げていました。出来上がったそばはそのまま持ち帰り、その場で講師作のそばを皆さんと一緒に食べました。

■クリスマス クラフトケースを作ろう！ 12月17日(土) 20名



クリスマスシーズンということで、サンタクロースをイメージしたクラフトケースを作りました。子ども広場の事業の中でも難易度が高かったのですが、講師の指導を受けながらしっかり最後までやり遂げました。最後に、完成したかごにささやかなクリスマスプレゼントが配られました。

■縄文土器を作ろう！ 1月21日(土) 29名

■チョコレートを作ろう！ 2月18日(土) 26名



どきどきセンター職員の指導の下、土器作りを行いました。最初に土器の進化や使い方、何を入れていたか等のお話を聞きました。「触ってみてもいいですか?」と、初めて見る土器に興味津々。その後の土器作りでは、最初、戸惑いながら恐る恐るちぎってこねていた粘土も、最後には立派な土器になりました。

ミルク・苺・ホワイトのチョコを溶かして、型やタルトに流し込んだり、フルーツやクッキーに付けて固めたり、コーンフレークを混ぜて固めました。チョコが固まる前にデコレーションをしなければならず、皆集中して作業していました。最後は、チョコレートパフェを作って皆で食べました。

※調理開始前に手洗い・消毒、マスク、換気の徹底をしました。